



第5章 都市基盤の整備

5-1 土地利用と景観の形成



担当課 農林振興課、都市計画課

主な関係課 防災・危機管理課、土木課、建築指導課、新里支所地域振興整備課、黒保根支所地域振興整備課

基本方針

持続可能な都市を形成するため、地域特性への配慮、自然環境との調和、災害に対する安全性の確保、良好な景観形成等を考慮しながら、総合的・計画的な土地利用を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「土地利用と景観の形成」の市民実感度 ^{※1}	%	29.8 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

現況と課題

- ◆桐生地区、新里地区、黒保根地区の3地区ごとに土地利用の現状が異なっているため、それぞれの特性を踏まえた土地利用が求められています。
- ◆中心市街地の空洞化が進行していることから、都市基盤や住環境の整備と、未利用の土地の有効利用を図る必要があります。
- ◆土地の実態を的確に把握し、地籍の明確化や地図（公図）の混乱がみられる地域の解消を図るため、国土調査を実施する必要があります。
- ◆災害に対する安全性を確保しつつ、郷土に対する誇りや愛着が持てるよう、豊かな自然や歴史ある町並みなど固有の景観を生かした魅力ある景観づくりを行う必要があります。

※1 「土地利用と景観の形成」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は地域の特性を踏まえた、良好な景観のあるまちづくりができている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

施策の方向

1. 土地の有効利用

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
国土調査の進捗率 【各年度末時点】	%	29.64	29.79	29.87	29.95	30.03

施策

1. 適正な土地利用の推進
2. 持続可能な都市の形成

重点施策

2. 景観の形成

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「景観講演会」の参加者アンケートの設問「景観等に関わる市の取り組みを知っているか」に対し、「知っている」と回答した人の割合	%	37.3	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上	調査の都度向上

施策

1. 景観保全の推進
2. 啓発活動の推進

主な関連計画

- ◇桐生市都市計画マスタープラン（2015～2025年）
- ◇桐生市コンパクトシティ計画（2019～2040年）
- ◇桐生市景観計画（2016年度～）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）

5-2 歴史まちづくりの推進



担当課 日本遺産活用室、都市計画課

主な関係課

基本方針

歴史的町並みを後世に伝え継ぐため、先人の築いた歴史的建造物とそこに息づく人々の暮らしなどの活動が作り出す歴史的風致の維持・向上を図り、歴史的環境を生かしたまちづくりを推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「歴史まちづくりの推進」の市民実感度 ^{※1}	%	42.1 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

現況と課題

- ◆歴史的資産の保存活用については、「重要伝統的建造物群保存地区^{※2}」を核とした総合的・一体的なまちづくりを推進し、地域の活性化につなげていくことが課題となっています。
- ◆「重要伝統的建造物群保存地区」の町並みを継承していくため、歴史的建造物の保存・活用においては、保存計画の適正な運用と合わせ、住民同士の連携や保存団体の組織など、住民と行政が一体となった取り組みが必要となります。

※1 「歴史まちづくりの推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は重伝建地区をはじめとする歴史的まち並みを生かしたまちづくりが進んでいる」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 重要伝統的建造物群保存地区…市町村が条例などにより、歴史的な建造物や町並み、またそれらと一体となっている環境を保存するために都市計画で決めた伝統的建造物群保存地区のうち、文化財保護法の規定に基づき、特に価値が高いものとして国が選定したものを。

施策の方向

1. 歴史まちづくりの整備

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
伝統的建造物の修理棟数 【各年度末時点での累計】	棟	27	31	33	35	37
修理した伝統的建造物の利活用棟数 【各年度末時点での累計】	棟	26	27	29	31	33

施策

1. 歴史まちづくりの整備

重点施策

2. 歴史的風致を活用したまちづくりの推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
歴史的風致形成建造物の指定件数 【各年度末時点での累計】	件	14	16	17	18	19

施策

1. 歴史的風致を活用したまちづくりの推進

重点施策

主な関連計画

- ◇桐生市歴史的風致維持向上計画（2017～2026年度）
- ◇第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）



重要伝統的建造物群保存地区の町並み

5-3 道路交通網の整備



担当課 都市計画課、土木課、建築指導課

主な関係課 新里支所地域振興整備課、黒保根支所地域振興整備課

基本方針

産業、観光、経済等の発展と安全かつ円滑な道路交通を確保するため、本市と首都圏をつなぐ高速道路網へのアクセス道路や都市間及び都市内の骨格を形成する幹線道路、更に市民の生活を支える生活道路の整備に取り組みます。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「道路交通網の整備」の市民実感度 ^{※1}	%	23,6 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

現況と課題

- ◆高速道路網を生かすため、北関東自動車道へのアクセスの向上を図ることが課題となっています。
- ◆都市間の連絡強化や災害時における交通機能を確保するとともに、市街地内の主要な路線・交差点の渋滞解消を図るため、周辺都市と連携した一体的な道路交通体系の確立が課題となっています。
- ◆橋や舗装の長寿命化計画により、安全性の確保と補修費用等を抑制した維持管理を行っています。
- ◆狭あい道路^{※2}や道路の危険箇所等の解消を図るとともに、道路空間と沿道空間の一体性に配慮した良好な景観形成や街路樹の維持管理、ユニバーサルデザイン^{※3}の導入が求められています。

※1 「道路交通網の整備」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は市中心部や周辺都市へ快適にアクセスできる道路網が整っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 狭あい道路…建築基準法で指定した幅員4m未満の道路。

※3 ユニバーサルデザイン…障がいの有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が利用しやすいように、施設や製品などをデザインすること。

施策の方向

1. 幹線道路網の整備

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
都市計画道路の整備率 【各年度末時点】	%	47.9	48.1	48.2	48.3	48.4

施策

1. 北関東自動車道へのアクセス道路の整備 **重点施策**
2. 幹線道路の整備 **重点施策**

2. 生活道路網の整備

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
狭あい道路の整備工事が所数 【年間】	か所	38	40	40	40	40
橋梁長寿命化の修繕橋梁数 【年間】	橋	2	2	2	2	2

施策

1. 生活道路の整備
2. 人と環境にやさしい道づくり
3. 道路の適正管理

主な関連計画

- ◇ 桐生市都市計画マスタープラン（2015～2025年）
- ◇ 桐生市コンパクトシティ計画（2019～2040年）
- ◇ 桐生市橋梁長寿命化修繕計画（2012年度～）
- ◇ 桐生市景観計画（2016年度～）
- ◇ 第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）

5-4 公共交通体系の充実



担当課 交通ビジョン推進室、新里支所市民生活課、黒保根支所市民生活課、黒保根支所地域振興整備課

主な関係課 企画課、環境課、観光交流課、都市計画課

基本方針

将来にわたって持続可能な公共交通体系の構築を目指し、鉄道や路線バス等の乗合旅客のほか、**自家用有償旅客運送^{※1}**や新たな移動システムによる利用者の利便性の向上を進め、市民の移動手段の確保を図ります。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「公共交通体系の充実」の市民実感度 ^{※2}	%	19.9 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

現況と課題

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少した公共交通の利用者数が完全には回復しない中で、近年の物価高騰に伴う燃料費等の上昇により、運行事業者の経営状況は更に厳しくなっています。
- ◆少子高齢化やコロナ禍^{※3}での生活様式の変化に伴い、住民の安全で安定した移動を確保するためには、鉄道や路線バスをはじめとする地域公共交通の再構築を図る必要があります。
- ◆公共交通の運行体系の効率化や利便性の向上を図るとともに、自家用車への過度な依存から公共交通を併用していくことについて、市民一人ひとりの意識変容とそのための啓発が必要になっています。
- ◆駅やバス停までの移動が不便な人に対する課題解決などの調査・研究を行い、新たな移動手段の確保を図る必要があります。

※1 自家用有償旅客運送…地域における輸送手段の確保が必要だがバス・タクシー事業が成り立たない場合に、必要な安全上の措置をとった上で、市町村やNPO法人等が自家用車を用いて提供する運送サービス。
 ※2 「公共交通体系の充実」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区の公共交通（鉄道やバス）は利便性が良い」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。
 ※3 コロナ禍…2019年末からの新型コロナウイルス感染症が招いた災難や危機的状況のこと。

施策の方向

1. 鉄道利用の促進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
市民1人当たりの年間乗降回数 (市内全17駅)	回	40.39 (2021年度)	41.00	42.00	43.00	44.00

施策

1. 鉄道利用の促進 **重点施策**
2. 鉄道事業者への支援

2. バス交通網の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
市民1人当たりのバス交通の 年間利用回数	回	2.53	2.60	2.80	3.00	3.20

施策

1. バス交通網の充実 **重点施策**
2. 新たな移動システムの導入 **重点施策**

主な関連計画

- ◇ 桐生市交通ビジョン（2023～2032年）
- ◇ 桐生市地域公共交通計画（2024～2028年）
- ◇ 桐生市都市計画マスタープラン（2015～2025年）
- ◇ 桐生市コンパクトシティ計画（2019～2040年）
- ◇ 第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）



東武鉄道 新桐生駅

5-5 きりゅう暮らしの推進



担当課 企画課、建築住宅課、空き家対策室

主な関係課 新里支所地域振興整備課、黒保根支所地域振興整備課

基本方針

誰もが住みたい・住み続けたいと感じられるまちづくりを進めるため、きりゅう暮らしに関する魅力発信や移住・定住を促進する支援策を講じるとともに、良好な住環境づくりを推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「住宅対策の推進」の市民実感度 ^{※1}	%	28.2 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
空き家の解消率(除却) ^{※2} 【各年度末時点】	%	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0

現況と課題

- ◆移住・定住を促進するためには、官民共創の観点で、「桐生市移住支援フロント むすびすむ桐生^{※3}」の機能強化を図りながら、桐生地区・新里地区・黒保根地区の特徴に応じたきりゅう暮らしの魅力伝える取り組みや、移住希望者に寄り添った伴走支援を推進する必要があります。
- ◆住環境の整備に当たっては、高齢者、障がい者や子育て世代等への支援となることと同時に、環境への配慮や社会環境の変化などを捉えて進めていく必要があります。
- ◆空き家の増加はまち全体の活気を失わせるだけでなく、治安・防犯面からも問題となるため、利活用や除却も含めた適切な対応を進める必要があります。

※1 「住宅対策の推進」の市民実感度…市民の声アンケートの「桐生市は住み続けたい生活の場としての住環境が整っている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※2 空き家の解消率(除却)…空き家除却数を空き家全体数で除した割合。

※3 桐生市移住支援フロント むすびすむ桐生…様々な人と人とのつながりにより、まちの賑わい創出や地域コミュニティの活性化を図るために設置した、移住・定住に関するワンストップ相談窓口。

施策の方向

1. 移住・定住の促進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
移住・定住に関する相談件数 【年間】	件	224	290	310	320	330
空き家・空き地バンクの成約率※4 【各年度末時点での累計】	%	74.9	75.0	75.1	75.2	75.3

施策

1. 移住・定住の促進

重点施策

2. 住環境の整備

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
高層の市営住宅の耐震改修工事 実施率【各年度末時点】	%	83.3	100	100	100	100
老朽度が著しく周囲に影響を及ぼす 恐れのある空き家等の減少件数 【年間】	件	10	10	10	10	10

施策

1. 市営住宅の整備

2. 空き家・空き地対策の推進

主な関連計画

- ◇ 桐生市都市計画マスタープラン（2015～2025年）
- ◇ 桐生市住宅マスタープラン（2021～2030年度）
- ◇ 桐生市公営住宅等長寿命化計画（2020～2029年度）
- ◇ 桐生市空き家等対策計画（2023～2027年度）
- ◇ 第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020～2027年度）

※4 空き家・空き地バンクの成約率…空き家・空き地バンクの成約数を登録数で除した割合。

5-6 公園・緑地の整備



担当課 公園緑地課

主な関係課 都市計画課

基本方針

緑豊かなまちを形成するため、地域住民との協力・連携等により、安全で快適な公園利用の充実を図るとともに、都市公園^{※1}などの緑化を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「公園・緑地の整備」の市民実感度 ^{※2}	%	34.8 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

現況と課題

- ◆コロナ禍^{※3}においては、多くの人々が身近な公園に訪れる中で、多様化する利用者のニーズへのきめ細やかな対応が必要となっています。
- ◆都市公園の管理については、市民の相互交流をより一層促進する場となるよう、ボランティアの協力を得ながら市民に愛される公園づくりや老朽化した公園施設の整備・改修を進める必要があります。
- ◆良好な市街地空間の創出のため、公共空間のみならず民間施設や民有地の緑化についての取り組みも求められています。

※1 都市公園…国、都道府県、市区町村が設置した公園。

※2 「公園・緑地の整備」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区には安全で快適に利用できる公園や、緑地が整備されている」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

※3 コロナ禍…2019年末からの新型コロナウイルス感染症が招いた災難や危機的状況のこと。

施策の方向

1. 公園の充実

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
老朽化した公園施設の解消割合 【各年度末時点】	%	18.9	38.2	46.3	54.8	62.2

施策

- 公園の充実
- 協働による公園管理

2. 緑化の推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
緑化イベント ^{※4} の参加者・来場者数 【年間】	人	550	580	610	640	670

施策

- 緑化の推進

主な関連計画

◇桐生市都市計画マスタープラン（2015～2025年）



桐生が岡公園（遊園地）

※4 緑化イベント…「緑化推進大会」と「市民植木市」のこと。

5-7 水道水の安定供給



担当課 水道局総務課、工務課、浄水課

主な関係課

基本方針

安全・安心な水道水を安定供給するため、水道事業経営の更なる健全化・効率化を図りながら、水道施設の戦略的な維持管理・更新等を推進します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「水道水の安定供給」の市民実感度 ^{※1}	%	87.7 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
給水区域内普及率 【各年度末時点】	%	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9

現況と課題

- ◆人口減少に伴い水需要の減少が見込まれる中、施設更新の際には、ダウンサイジングなどの施設規模の適正化を図る必要があります。
- ◆老朽化した諸施設の適正管理を行うとともに、災害時等の応急給水・応急復旧体制を確立する必要があります。
- ◆将来にわたって水道事業を安定的に運営するため、経営の効率化や財政の健全化など経営基盤強化に取り組む必要があります。

※1 「水道水の安定供給」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区はいつでも安心して水道が使える」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。

施策の方向

1. 適切な水質管理

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
水質基準項目の自己検査の割合	%	100	100	100	100	100

施策

1. 適切な水質管理

2. 上水道施設の整備

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
有効率 ^{※2} 【各年度末時点】	%	82.9	83.1	83.2	83.3	83.4
基幹管路の耐震適合率 ^{※3} 【各年度末時点】	%	56.6	56.8	56.9	57.0	57.1

施策

1. 上水道施設の整備
2. 災害・事故対策の強化
3. 漏水防止対策の強化

3. 上水道事業の健全運営

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
上水道会計の経常収支比率 ^{※4}	%	96.2	89.7	87.5	85.7	83.1

施策

1. 上水道事業の健全運営

主な関連計画

◇ 桐生市水道再生マスタープラン（2006～2025年度）

◇ 桐生市水道事業経営戦略（2018～2027年度）

- ※2 有効率…配水量に対する有効に使われた水量の比率。
- ※3 基幹管路の耐震適合率…基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すものであり、地震災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標の一つ。
- ※4 上水道会計の経常収支比率…水道事業における経常収支比率は経常費用に対する経常収益の割合を表すもので、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表し、100%未満であることは経常損失が生じていることを意味する。なお、目標値については、「桐生市水道事業経営戦略」において、今後の施設・設備投資及び財源の見通しの試算を行い、100%を下回ることは避けられない状況が予測されていることを踏まえ、目標数値を設定した。100%を下回る場合は、内部留保資金でその差を補填するとともに、収支ギャップ解消のための施策を実施し、改善に努める。

5-8 汚水・雨水の適正処理



担当課 下水道課、境野水処理センター、清掃センター

主な関係課 都市計画課、新里支所地域振興整備課

基本方針

生活環境の向上と公共用水域^{※1}の水質保全を図るため、適切な汚水・雨水処理と健全な下水道事業を運営します。

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「汚水・雨水の適正処理」の市民実感度 ^{※2}	%	77.4 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上
汚水処理人口普及率 【各年度末時点】	%	93.7	94.7	95.0	95.4	95.7

現況と課題

- ◆公共下水道の未整備地区の整備については、将来的な人口減少や投資効果を検証し、公共下水道と合併処理浄化槽^{※3}との汚水処理のベストミックスの検討や、事業計画区域の見直し等が必要です。
- ◆下水道施設については老朽化が進んでおり、適正で効率的な施設管理を行う必要があります。
- ◆雨水対策については、河川管理者等とより一層連携を図りながら、浸水地域の解消に努める必要があります。
- ◆公共下水道事業は地方公営企業法^{※4}を適用したことから、持続的な経営を確保していくため経営の効率化や財政の健全化を進めていく必要があります。

※1 公共用水域…水質汚濁防止法によって定められる、公共利用のための水域や水路のこと。
 ※2 「汚水・雨水の適正処理」の市民実感度…市民の声アンケートの「お住まいの地区は下水道や浄化槽などが整備され、快適に暮らすことができる」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。
 ※3 合併処理浄化槽…し尿（水洗トイレからの汚水）と、生活雑排水（台所・風呂などからの排水）を処理する浄化槽。
 ※4 地方公営企業法…地方公共団体の経営する企業の組織、財務及びこれに従事する職員の身分取扱いその他企業の経営の根本基準を定め、地方自治の発達に資することを目的とした法律。

施策の方向

1. 汚水・雨水処理の推進

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
河川放流水の平均水質 (BOD ^{※5})	mg/l	15	15以下を維持	15以下を維持	15以下を維持	15以下を維持
汚水整備面積 【各年度末時点での累計】	ha	2,704	2,716	2,720	2,806	2,807
雨水整備面積 【各年度末時点での累計】	ha	859.9	864.1	865.0	865.4	871.1

施策

1. 環境衛生の充実
2. 処理施設の整備・改築更新

2. 下水道事業の健全運営

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
下水道会計の経常収支比率 ^{※6}	%	103.4	104.0	104.5	105.0	107.0

施策

1. 下水道事業の健全運営

主な関連計画

- ◇ 桐生市都市計画マスタープラン（2015～2025年）
- ◇ 桐生市コンパクトシティ計画（2019～2040年）
- ◇ 桐生市下水道事業ストックマネジメント全体計画（2022～2051年度）

※5 BOD…水中の微生物が有機物を分解するときに必要なとする酸素量（生物化学的酸素要求量）のことで、数値が大きいかほど水質は悪くなる。

※6 下水道会計の経常収支比率…下水道事業における経常収支比率は経常費用に対する経常収益の割合を表すもので、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表し、100%未満であることは経常損失が生じていることを意味する。

5-9 水と緑の保全



担当課 環境課、農林振興課、土木課、公園緑地課、黒保根支所地域振興整備課、水道局総務課

主な関係課 新里支所地域振興整備課

基本方針

森林、清らかで豊富な水、清々しい空気を背景とした水源都市の実現を目指し、森林の整備をはじめ、水源のかん養^{※1}の適切な管理や河川・水路の整備等、住民参加による自然環境保全に取り組みます。

目標指標	単位	目標値				
		基準値 2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
「水と緑の保全」の市民実感性 ^{※2}	%	78.1 (2023年度)	—	調査の 都度向上	—	調査の 都度向上

現況と課題

- ◆本市は、水源都市として下流地域へきれいな水を流す責務があり、水源のかん養である森林保全やカッコソウ^{※3}をはじめとする希少植物の保全を含めた自然環境保全の取り組みが求められており、自然保護意識の普及啓発、企業や団体をはじめとした森林水源ボランティアの育成が重要になっています。
- ◆市内には一級河川や市管理の水路が多く流れており、それらの砂防堰堤^{※4}・堤防・水路の整備については、大災害に備えて、市民の理解と地権者の協力を得ながら、国や県に積極的に事業促進を働きかけ、計画的に進めていくことが求められています。

※1 水源のかん養…森林に降った雨や雪などの降水が土壌に浸透し、地下水となりゆっくり流れ出ること、洪水や濁水が緩和されたり、水質が浄化されること。
 ※2 「水と緑の保全」の市民実感性…市民の声アンケートの「桐生市の自然環境は良い」という質問に対して、「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた「感じる」と回答した人の割合。
 ※3 カッコソウ…世界で桐生市・みどり市周辺の山地のみに自生するサクラソウ科の植物。絶滅の可能性が高いことから、2012年5月に「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種に指定されている。
 ※4 砂防堰堤…河川の土砂災害を防止する目的で河川上流部に設置され、下流の河川への土砂の流れ込みを防ぎ、土石流などを食い止める役割を担う施設。

施策の方向

1. 水源・河川等の保全

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
河川・水路整備か所数【年間】	か所	40 (2021年度)	40	40	40	40

施策

1. 水源の保全
2. 河川・水路の整備

2. 森林の保全

目標指標	単位	基準値	目標値			
		2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
自然観察の森で実施する観察会の参加者数【年間】	人	945	1,000	1,100	1,200	1,300
森林整備ボランティア活動に関する協定を結んだ森林面積【各年度末時点での累計】	ha	26.3	27.3	28.8	30.2	31.7
本市総面積に占める森林面積の割合【各年度末時点】	%	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0

施策

1. 自然保護意識の普及・啓発活動の推進
2. 森林ボランティアによる森林保全整備の促進
3. 森林の公益的機能の保全

主な関連計画

◇桐生市都市計画マスタープラン（2015～2025年）



カッコソウ